

プレスリリース
2026年3月 グラスヒュッテ

モリッツ・グロスマン生誕200周年を記念する
アニバーサリーコレクション第一弾
ハマティック シルバーフリクションを発表

1826年3月27日に生まれたブランドの創業者である時計職人モリッツ・グロスマンの生誕200周年を迎える2026年はグラスヒュッテにあるマニュファクチュール、モリッツ・グロスマンにとって記念すべきアニバーサリーイヤーとなります。才能ある時計職人であり、また科学者としても高い志を持ち、文筆業でも活躍したモリッツ・グロスマンはブランドの基礎を築くとともにグラスヒュッテの時計産業に大きな影響を与え、ドイツ時計学校の創設に貢献しました。

この偉大な時計職人の名を冠するモリッツ・グロスマンは彼の生誕200周年を記念してアニバーサリーシリーズを発表します。これらの記念モデルはグロスマンの先駆的アイデアと現代の時計製造技術を結び付けており、彼が抱き続けた時計づくりのコンセプトにインスパイアされ、革新的なアイデアを創造的かつ継続的に発展させています。グロスマンの意志を継ぐマニュファクチュールは魂と情熱をこめて彼のビジョンを具現化しており由緒あるウォッチメイキングを極めた新たな息吹を吹き込むブランドとなりました。

アニバーサリーコレクション第一弾「ハマティック シルバーフリクション」

200周年アニバーサリーコレクションの最初の限定モデルは銀摩擦メッキを施したダイヤルを採用したハマティック シルバーフリクションです。テンプ受けにはグロスマンの誕生年である特別な「1826」の文字が刻印されています。1875年に彼が製作した懐中時計の文字盤に記される「M. Grossmann」のヴィンテージロゴも偉大な功績へのオマージュとなっています。モデル名であるハマティックは搭載されるムーブメントの独創的な機構に由来しています。キャリバー106.0は振り子のように左右に振れる特徴的なハンマーフレームの動きでゼンマイを巻き上げます。この振り子式自動巻き機構は歴史的なアイデアに新たな解釈を加え開発されました。中央部が大きく開いたハンマーフレームからは丁寧に仕上げられたパーツの精緻な仕上げを見ることができます。

独創的なメカニズムを彩るダイヤルデザイン

ハマティック シルバーフリクションには銀摩擦メッキ加工を施した文字盤が採用されています。独自に配合されたパウダーを使用する伝統的な技法を用いたダイヤルは特徴的な仕上がり

を有しています。特別な粉末をペースト化しブラシで何度も擦り付け仕上げた文字盤はきめ細やかなベルベットのような質感を持ち柔らかく反射します。

すべて手作業で行われる歴史的なダイヤルメイキングには高い集中力と巧みな手さばき、そして豊富な経験が必要となります。現在、この技術を習得している職人は限られており、機械では同じ仕上がりを実現できません。きらめきを残しながらもマットな印象を持つこの絶妙な調和が時を経ても色あせることのない独特の輝きを生み出しています。アラビア数字のインデックスや目盛りの涼しげなブルーと、同色のモリッツ・グロスマンのロゴがダイヤルの美しさをさらに引き立てています。これまでハマティックにはローマンインデックスを用いてきましたが、このアニバーサリーモデルでは初めてアラビア数字を採用しました。

創業者の意志を受け継ぐコレクション

ハマティック シルバーフリクションはモリッツ・グロスマンの独創性を見事に表現しています。ムーブメントの細部にも彼が遺した時計と同じ特徴が見られ、調整ネジ付き緩急針や大きなテンプ、装飾用のネジなど典型的な特徴を有しています。

自社製の針も精緻な仕上がりを誇ります。ダイヤルカラーと調和するブルーに焼き戻されたスチール針は1本ずつ丁寧に磨き上げられています。

200周年記念シリーズのファーストコレクション

ハマティック シルバーフリクションはモリッツ・グロスマンの誕生日である3月26日に発表されます。世界限定18本のリミテッドモデルとなり、特別な記念モデルのデザインを引き立てるブルーのクーズーストラップを合わせています。

バリエーション：

Ref.	MG-004040
ケース	18K ホワイトゴールド
ダイヤル	ブルーラッカーを充填したシルバーフリクションダイヤル
針	手仕上げ、ブルーに焼き戻されたスチール
限定数	世界限定 18 本

仕様：

ムーブメント	自社製キャリバー106.0、自動巻き、5 姿勢調整
部品数	312 個
石数	38 石（うち 3 石はネジ留め式ゴールドシャトンに使用）
脱進機	アングル脱進機
調速機	質量ネジ 4 本および調節ネジ 2 本を装着した耐震軸受式グロスマン製テンプ、ニヴァロックス 1 ヒゲゼンマイ
テンプ	直径: 10.0 mm 振動数: 21,600 振動/時
パワーリザーブ	完全巻き上げ状態から約 72 時間

機能	時、分、ストップセコンド機能搭載スモールセコンド
操作	リュウズ 18K ゴールド（時計の巻き上げおよび時刻設定用）
ケースサイズ	直径: 41.0 mm 厚さ: 11.35mm
ムーブメントサイズ	直径: 36.4mm 厚さ: 5.15mm
ケース	スリーピース、18K ホワイトゴールド
ダイヤル	ブルーラッカーを充填したシルバーフリクションダイヤル
針	手仕上げ、ブルーに焼き戻されたスチール
風防	片面反射防止加工をしたサファイアクリスタル
ストラップ	手縫い、ブルーレザー・ストラップ、バックル 18K ゴールド
特徴	グロスマン製テンプ／段差式テンプ受け、グロスマン製精密調整ネジによる緩急調整装置／表面処理をしない洋銀のプレートおよび支柱構造・テンプ受けのハンドエングレービング／幅広く水平なグラスヒュッテ・ストライプ模様、／平型ネジ留め式の盛り上がったゴールドシャトン／ストップセコンド機能／ハンマー振り子式自動巻き機構／両方向ラチェット歯車／アンクル爪によるフリーホイール／レバー式手巻き機構／テンプ受けに施される「1826」の記念刻印

モリッツ・グロスマン

モリッツ・グロスマンは 1826 年にドレスデンに生まれ、偉大なドイツ人時計職人たちにおいて先駆者とみなされます。若く才能に恵まれた時計職人であったグロスマンは、友人のアドルフ・ランゲの説得により 1854 年に自身の工房をグラスヒュッテに設立しました。評価の高い時計企業を運営する一方で、グロスマンは政治的・社会的な活動に努め、1878 年にはドイツ時計学校を設立します。1885 年にモリッツ・グロスマンは突然亡くなり、彼の死とともに時計マニファクチュールも解体されました。このモリッツ・グロスマンの伝統的な時計作りが 2008 年に復活しました。時計師クリスティーネ・フッターが、かつてグラスヒュッテの時計ブランドであった「モリッツ・グロスマン」に出会い、その商標を取得し、構想を練り、素晴らしく繊細な腕時計とともに残された 120 年前のグロスマンの遺産を受け継いだのです。そして、個人の時計愛好家からの支援によって 2008 年 11 月 11 日にグロスマン・ウーレン社がグラスヒュッテに設立されました。今日のグロスマンの時計師は、歴史的な部分を単に模倣するのではなく、新たな伝統を作り上げています。モリッツ・グロスマンは、革新と卓越した技能を基に、伝統的であると同時に最新の仕上げ技術と高品質の素材を使い、時計作りにおける「新しい時代の原点」を創り出します。

www.grossmann-uhren.com

Information and image material for download:

HAMATIC Silver-Plated by Friction:

<https://my.hidrive.com/share/gy19fpgb00>

Grossmann Uhren GmbH:

<https://my.hidrive.com/share/8p0kgeshxo>

To the website:

<https://www.grossmann-uhren.com/>

詳細な情報および高解像度の画像をご希望の方は下記にご連絡下さい。

モリッツ・グロスマン・ジャパン株式会社

担当：瓜生まり子（マーケティング&PR）

Tel: 03-5615-8185 Fax: 03-5615-8186

Email: mariko.uriu@grossmann-uhren.com



HAMATIC Silver-Plated by Friction



HAMATIC Silver-Plated by Friction